

# ●●講中を訪ねて●●

## 東久留米市御嶽神社 神山講

講元 並木 弘國

東久留米神山講（現在の金山町・神宝町）が御嶽神社に豊作祈願に参拝するようになったのは、今から六十年ほど前にさかのぼります。六十数年間、東久留米の農家の心の支えになってきたのが御嶽神社でありました。現在の地元、神山講は四十五軒あり、今も昔と変わらず講中の方が代参者となり、地元で採れた野菜穀物をもって参拝に行っております。以前、晴れ続きで雨が降らず、野菜の収穫ができなくて困ったことがありました。その折御嶽神社に参拝に行き、御嶽山の天狗岩の下の七代の滝から水を持ってきて地元の叡島神社の池に入れて雨乞いの祭りをいたしましたところ、一週間のうちに雨が降ってきて講中の皆様と大いに喜んだという逸話もございました。

所在地 東京都東久留米市  
 講員数 四十五名  
 主幹宮司 片柳 政光



## 上富上組講

講元 鈴木 理市

私共の地域は、川越藩主・柳沢吉保公による三富新田開拓の地であり、江戸元禄より三百二十余年、開拓者精神を守りつつ先祖代々の生業である農業を営み暮らしています。



上富には上組講、中組講、下組講があります。御嶽講は、五穀豊穡・家内安全をお守りいただくのだと先代から聞かされており、また上富一区農家組合と両輪の関係をもち、毎年四月十日には、農家組合の総会と講の御日待を行っています。そこでは、それぞれが情報交換のできる大切な場となっております。昭和五十二年と平成九年には、御師・秋山さんのお世話になり太々神楽も奏上しました。

新年会、春の代参有志の参拝、秋には御師・秋山さんの講中回りとあるなかで、講員各位御嶽山を崇拜する心は変わらず、講の行事を皆楽しみにしています。

所在地 埼玉県三芳町  
 講員数 四十七名  
 主幹宮司 秋山 佳久

## 浦安の舞ご奉納を終えて

川合 悦子

私が初めて武蔵御嶽神社さまにお参りをさせて頂きましたのは、もう何年も前のことになりました。それ以来折に触れ、様々な思いを胸に抱きながらお参りをさせて頂いておりました。



数年前、健康診断で病が見つかりましてから、その思いはより深くなっていました。お山まで登らせていただくことが大変ありがたく感じるようになったので、時に病への不安を抱くこともございましたが、「ご神前に座らせていただくだけで、内側が静かに落ち着き、心強く感じるのです。」

おかげさまで、何度かの入院の後病も治りました。その事があったさに加え、病の間ずっと心の支えとさせて頂いていただきました神さまに、何か自分なりに感謝の気持ちをお伝え申し上げることはできないだろうか、という思いが生まれて参りました。そのような時たまの縁で、天野先生に浦安の舞をお教え頂けることになりました。平成二十六年十二月八日の月次祭の後、ご奉納させて頂いていただくことができました。

正直わたしのような一般人の間が、浦安の舞を習わせていただけるとも思っておりませんでしたし、拝殿にてご奉納させて頂けるとは夢のようなことだと思えました。天野先生にはお忙しい中お時間を作ってくださりご指導くださいました。私自身もスタジオをお借りして、一生懸命一人でお稽古をしました。

本番当日は大変緊張致しました。しかし、舞に集中し、終わりが近づくと、「（神さまありがとうございます）という思いと、（もつと舞っていたい）という思いで涙がにじみでそうになりました。ご奉納を終えますと、心が素直で軽くなり、とても穏やかになりました。心が洗われると、まさにこういうことなのだ、と思えました。こうして無事にご奉納させていただきました。武蔵御嶽神社の神職の先生方、須崎宮司さま、天野先生をはじめ、御嶽御嶽神社の神職の先生方、そしてお山の皆様のおかげと存じます。誠にありがとうございました。これから心も心の心を深めて、お参りさせていただきたいと思っております。本当にありがとうございます。改めまして、心より御礼を申し上げます。

## 神前結婚式

早秋の朝、雲一つ無く晴れ渡る空の下、深山の神々の祝福を受け、二人は新たな門出を迎えました。遮られること無く眼下に広がるどこまでも続く関八州の輝く大地に、共に歩む二人の未来を重ね、一歩ずつ歩き始めます。

山頂の神社への道、両親は白無垢姿の新婦の手を引き一歩先を登っていきます。先を行く親の背に二人はこれまでの生活を重ね感謝で胸が熱くなり、両親はその握る手に子の成長を感じ石段を踏みしめます。

そして、新郎と手を取る新婦の笑顔を見て両親はその手を離しました。



平成26年9月23日 11時執行  
 山本家・小高家 結婚式

親の背を見て子は成長し、神を感じ感謝して人は育つてゆく。

神前結婚式とは、神と共に生きる日本人のアイデンティティーそのものなのです。

霊山と称えられる武州御嶽山、その神々のよりお近くで、多くの祝福を授かりながら日本古来の式を挙げる、その喜びは一生心に刻まれる事でしょう。

新郎：真吾さん  
 御嶽神社にて結婚式を挙げ、一番印象深かった事は、本当に偽りない厳かな雰囲気の中で、式を挙げられた事です。妻の地元でもあり沢山の方々に支えられ手造りの思い出深い暖かいまま、御嶽山にて代々受け継がれてきた方々による伝統的な式で、生の雅楽演奏が式をより格式高くして、出席した家族・友人も感動しておりました。本当に有難うございました。

新婦：晶子さん  
 生まれ育った御嶽で、又小さい頃から馴染みのある御嶽神社で結婚式を挙げる事ができて、本当に嬉しかったです。台風も近寄れず、最高の天気でのこの日を迎えることができたのも御嶽神社のおかげです。沢山の人の支えられて、人生の門出を迎えられ感謝の気持ちでいっぱい

## 相談 受付は、お電話にて...

### 婚礼の儀

- 斎主 一人奉仕  
～三人奉仕
- 伶人 一人奉仕  
～三人奉仕
- 典儀（ご案内） 一人

※控室はございますが、和装等のご用意はありません。衣装・着付・ヘアメイクについての紹介は可能です。ご相談下さい。